

目標達成計画

作成日：平成23年1月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策に関し、地域の消防署とも連携し、利用者も交え避難訓練に取り組むことを期待する。	防災訓練の実施	①地域の消防団と連携をとる。 ②地域の消防団とスタッフと一緒に訓練を行う。	6ヶ月
2	49	日常的な外出支援に関し、介護度が上がっていることもあり、外出の頻度確保が難しいと考えられるため、ベランダや隣接の畑の活用が増えることを期待する。	外出や庭に出る機会を多く取る。	①歩行できない人は車椅子でベランダや庭に出る。 ②毎日行う買物の機会を利用し、その前後の時間に遠出する。	1ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアの実践に関し、緊急やむをえない場合「切迫性」「非代替性」「一時性」の要件を満たしていることは理解できるが、記録が不十分なことから、今後は書面による手続きをとることを期待する。	身体的な拘束が無い生活を保障する	①本人が転落する恐れがあると考えられる場合のみ 椅子が回転しないよう、イスを紐で固定する。 ②①のやむをえない理由を記録する。 (時間、状況の理由、実施者)	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。